

# ご 案 内

## 即日検査のご案内

- ◆ 弊社独自のネットワークにより、迅速に確かなデータをお届けします。
- ◇ より多くの検査項目を検体受領 **当日に検査** しています。
- ◇ **至急** 検査報告をご依頼の場合、即日検査項目については、受領検体到着後 **2時間** 以内にご報告できます。

### 《即日検査項目一覧》

生 化 学		血 液		凝 固
AST(GOT)	尿素窒素	アンモニア	白血球数	PT
ALT(GPT)	尿酸	蛋白分画	赤血球数	APTT
ALP	クレアチニン	ADA	ヘモグロビン	フィブリノゲン
LD	ナトリウム	CKMB (CKアイソザイム)	ヘマトクリット	FDP
LAP	カリウム	総ケトン体	血小板数	Dダイマー半定量
コリンエステラーゼ(CHE)	クロール	銅 (Cu)	網赤血球数	Dダイマー定量
γ-GT	カルシウム	ミオグロビン	末梢血液像 (自動機械法)	アンチトロンビン活性
総ビリルビン	無機リン		HbA1c(NGSP)	
直ビリルビン	鉄 (Fe)		浸透圧	
総胆汁酸	TIBC			
総蛋白	UIBC			
アルブミン	グルコース			
中性脂肪	CK			
総コレステロール	アミラーゼ			
HDLコレステロール	アミラーゼ(尿)			
LDLコレステロール	リパーゼ			
リン脂質	マグネシウム			

  

尿・糞 便	
尿浸透圧	尿糖定量
NAG(尿)	尿蛋白定量
	尿中食塩濃度
	尿一般物質定性
	尿沈渣

  

免 疫	血中薬物	内分泌	腫瘍マーカー
CRP定量	IgG	テオフィリン	CEA
ASO	IgA	フェニトイン	AFP
血清アミロイドA蛋白	IgM	フェノバルビタール	プロラクチン
RF定量	C3	カルバマゼピン	エストラジオール(E2)
HBs抗原	C4	バルプロ酸	プロゲステロン
HBs抗体	トランスフェリン	リチウム	HCG
HCV抗体	ABO式血液型	ジゴキシン	BNP
RPR	Rh(D)式血液型		TSH
TP抗体			FT4
			FT3

(注) 即日検査対象項目は、地域により一部異なります。あらかじめご確認ください。

(注) **至急** 検査報告の受託可能時間帯は、地域により異なりますので、あらかじめご連絡ください。

## 《検査結果時系列台紙》

- 検査報告書のカルテ整理用に「検査結果時系列台紙」(B5版・A4版)を用意しております。  
検査データの時系列的な整理に便利です。

検査報告書 (I)

検査結果台紙 B5

A4



## 《検体の保管》

検査完了後の検体は、原則として一定の期間保存し、追加検査や再検査のご要望にお応えいたします。  
検査内容・結果等のお問い合わせ、ご意見、ご指摘につきましては、下記の弊社施設にお問い合わせください。

## 《検体の保存》

安定上、『予約検査』、『受付曜日指定検査』などを除く)なお、保管期間を過ぎた検体については、採取容器とともに弊社で処分させていただきます。また、弊社から検査を委託する項目については、委託先の基準に基づき保管いたします。

検体の保存期間(受付日より)	
血清	生化学・血清学的検査の汎用検査 : 約1~2週間
血液	末梢血液一般・血液型・グルコース・ HbA1c (ヘモグロビンA1c) 等の検査 : 約1週間
尿	尿沈渣以外の一般検査 : 約1週間
その他	微生物学的検査 : 約1週間
	分離菌株・一般細菌 : 報告後 約1週間
	分離菌株・抗酸菌 : 報告後 3~4週間

## お問い合わせ

検査内容・結果等のお問い合わせ、ご意見、ご指摘につきましては、下記の弊社施設にお問い合わせください。

- 検査結果・検査内容等のお問い合わせは……………■大阪血清微生物研究所(カスタマーセンター) Tel (06)6322-4531
- 大阪血清微生物研究所 奈良支社 Tel (0744)24-0530
- 大阪血清微生物研究所 田辺支社 Tel (0739)22-8740
- 病理・細胞診検査のお問い合わせは……………■大阪細胞病理研究所 (OCL) Tel (06)7634-0360

# 検査項目欄の見方

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
5002	サイロキシン(T4) 4B030-0000-023-051	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	111 生化II	CLIA	4.8~10.5 μg/dL		【高値】甲状腺機能亢進症 【低値】甲状腺機能低下症
2001	AST(GOT) 3B035-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	17* 生化I	JSCC 標準化対応法	7~36 U/L	溶血検体では 正誤差となります	【高値】肝炎(急性・慢性)
2015	無機リン 3H040-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	17* 生化I	モリブデン酸 UV法	2.5~4.5 mg/dL	全血のまま長時間放置 すると高値の原因となります	【高値】V.D過剰摂取 サルコイドーシス 【低値】V.D欠乏症高Ca血症
2018	クレアチニン 3C015-0000-023-271 3C015-0000-004-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11* 生化I	酵素法	男 0.61~1.04 女 0.47~0.79 mg/dL		【高値】うっ血性心不全 【低値】尿崩症・ 筋ジストロフィー
2129		蓄尿 2			6	1~2		11* 生化I	0.70~1.70 g/day	24時間蓄尿し尿量を記入 して下さい。

① ご依頼コードです。

② 検査項目名および項目略称です。

JLAC10コード(日本臨床検査医学会が制定した臨床検査項目分類コード)で、15桁までを記載しています。

1 A 0 0 1 - 0 0 0 1 - 1 1 1 - 9 9 9

分析物コード

識別コード

検体コード

測定法コード

同一項目で複数検体がある場合は、上下にその検体ごとに明記しています。

血清コード	2018	クレアチニン	血清 0.5
	2033	3C015-0000-023-271	蓄尿 2
蓄尿コード	2033	3C015-0000-004-271	

③ ご提出検体および必要量です。血清または血漿の場合、必要量の約3倍量の血液を採取してください。

採血管に血液を採取し、遠心分離後、所定量を別容器(No.1)に移し替えて、ご提出ください。

EDTA容器、クエン酸容器など添加剤入り容器でのご採取においては、採取後、よく混和させてご提出ください。

採取については必ず所定の容器をご使用ください。採取検体によっては検査実施できない場合がありますので、ご注意ください。

偶数ページ下に容器No.とその様式を表記していますので、ご参照ください。

④ 容器番号:提出容器の番号を示しています。また偶数ページに容器写真を表記しています。

容器の詳細については、巻末の「検体採取容器一覧」をご参照ください。

⑤ 検体ご提出までの保存方法です。必ず既定の保存方法で保存ください。

項目によっては検査実施できない場合がありますので、ご注意ください。

室温:室温(15~30℃)で保存。冷蔵:必ず冷蔵(2~14℃)で保存。凍結:凍結(-10℃以下)で保存。

部分尿:所定の時間またはスポット尿。蓄尿:24時間蓄尿して、その全量または検査必要量をご提出ください。

⑥ 検体をお預かりした翌日を起算日として、検査報告書をお届けするまでの日数です。

再検査の場合や休日・祝日の前後は、さらに若干の日数を要することがあります。

また、交通事情や気象状況により所要日数より報告遅延が生じる場合がございます。

⑦ 実施料および判断料区分です。

⑧ 検査方法名です。検査方法の概略につきましては、「検査方法の概略(p7~9)」をご参照ください。

⑨ 測定値を評価するための参考基準範囲です。

学会が示す臨床判断値、健常人に基づく設定値、検査試薬性能に基づく判断基準値などが含まれています。

⑩ 検査ご依頼にあたっての注意項目などです。

<予約検査>:事前に予約が必要な項目です。休日、祝日の前日に受託できない項目がありますので、ご注意ください。

⑪ 項目における一般的な異常を示す参考的疾患です。診療報酬請求等の適応疾患名ではありませんので、ご注意ください。

